

第35回（令和2年度） 商業経済検定試験問題 〔経済活動と法〕

解答上の注意

1. この問題のページは2から16までです。
2. 解答はすべて別紙解答用紙に記入しなさい。
3. 問題用紙の表紙に受験番号を記入しなさい。
4. 文字または数字で記入するもの以外はすべて記号で答えなさい。
5. 選択問題Ⅰ〔会社に関する法〕・選択問題Ⅱ〔企業の責任と法〕は2分野のうち1分野を解答すること。2分野を解答した場合は、選択問題すべてを無効とします。
6. 計算用具や六法全書などの持ち込みはできません。
7. 制限時間は60分です。

※ 試験終了後、問題用紙も回収します。

① 次の文章を読み、問いに答えなさい。

人と人が関わりをもって社会生活を営むことや、平穏で円滑に社会生活の秩序を維持していくためには、(a)社会の誰もが守らなければならない一定のルールが必要となる。これには、法・慣習・道徳・宗教上の戒律などがある。このうち法は、国家権力によって定められ、強制されるという性質をもち、さまざまな基準から分類することができる。例えば、条文の形に書きあらわされた法と、(b)明確な条文の形に書きあらわされていない法に分類できる。

法のなかでも、法律は国会の議決によってのみ制定される法である。例えば、受動喫煙防止の一環で「健康増進法の一部を改正する法律」が国会において制定され、2020年4月1日に全面施行された。また同じ日、千葉市は、飲食店を原則屋内禁煙とする「(c)受動喫煙防止条例」を施行した。千葉市の「受動喫煙防止条例」は、客席面積にかかわらず従業員がいる飲食店は屋内禁煙となるものである。この条例に違反した飲食店には、罰則も設けられている。

望まない受動喫煙から従業員を含め市民を守るため、各地で条例を制定する動きが全国的に広がっている。

問1. 下線部(a)を何というか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 社会通念 イ. 行動理念 ウ. 社会規範

問2. 下線部(b)を何というか、漢字3文字で正しい用語を記入しなさい。

問3. 下線部(c)はどのような法か、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 地方公共団体の議会が制定する法
イ. 地方公共団体の議長が制定する法
ウ. 地方公共団体の長が制定する法

② 次の文章を読み、問いに答えなさい。

Aは、毎年故郷であるX県に帰省している。Aの実家近くの川に、古くなった橋がかかっている。その橋が古くなって重量制限をしないと危険なため、入り口に「車馬通行禁止」と書かれた看板が置かれていた。Aは、法の解釈として看板の意味を考えてみた。

まずAは(a)看板に書いてある文言のとおり、「車と馬の通行を禁止している」と解釈した。さらに法全体との関連を考えて、例えば「車馬通行禁止」を法文の意味を広げて解釈する拡張解釈の場合は、「馬」の範囲を拡張して解釈することができる。また、(b)ある事項について法の規定がないとき、類似した法の規定から類推して解釈することもできる。

問1. 下線部(a)のような法の解釈を何というか、漢字2文字を補って正しい用語を完成させなさい。

問2. 本文の主旨から、下線部(b)の具体例として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 牛は馬ではないので通行可能とする解釈
イ. 自転車は車に含まれないので通行可能とする解釈
ウ. 牛も馬と同様であると考えて通行禁止とする解釈

③ 次の文章を読み、問いに答えなさい。

私たちは、さまざまな権利があるからといって、何をしてもよいというわけではない。社会生活が円満に営まれるために、民法では、「権利の行使及び義務の履行は、信義に従い誠実に果たすことが必要であり、私権は(a)公共の福祉に適合しなければならない」と規定している。

公共の福祉に適合しているかどうか争点となった判例に宇奈月温泉事件(昭和10年大審院判決)がある。その内容は、次のとおりである。Aの購入した土地の一部に、温泉会社のX社が設置していた温泉の引湯管が通っていた。Aは引湯管の撤去に莫大な費用がかかることに目をつけ、X社に対して撤去を求めた。Aは、応じなければ自分の購入した土地全部を時価の数十倍の価格で買い取るようにとX社に要求した。これに対して裁判所は、(b)権利の濫用であるとしてAの要求を退けた。

問1. 下線部(a)の説明として、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 個人の権利の主張を目的とした個人の利益
- イ. 社会の向上や発展を目的とした社会全体の利益
- ウ. 企業活動の発展を目的とした企業全体の利益

問2. 下線部(b)の説明として、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 正当な範囲を逸脱した権利の行使
- イ. 他者の利益になるような権利の行使
- ウ. 慣習による意思に基づいた権利の行使

④ 次の文章を読み、問いに答えなさい。

社会生活を営むうえで権利をもったり、義務を負ったりする者を権利・義務の主体という。そして権利・義務の主体となることのできる資格を権利能力という。人はすべて平等に権利能力をもっている。こうした私たち個人個人のことを法律のうえでは自然人という。自然人のほかに、(a)法律の定める一定の手続きによって設立された会社や協同組合などのように、法律によって権利・義務の主体として活動することを認められているものがある。

また、自然人は出生した時から権利能力を取得する。したがって生まれたての赤ちゃんでも権利能力は認められている。胎児はまだうまれていないので本来は権利能力がない。しかし例えば、父親が交通事故で死亡した場合に、その加害者に対して、子として損害賠償を求めるとき、父親が交通事故で死亡した翌日に生まれた赤ちゃん、前日に生まれた赤ちゃんとは重大な不公平を生じる場合がある。そこで、(b)民法では、例外として胎児の利益を守るため、生きて生まれることを条件に、すでに生まれたものとみなすこととして権利能力を認め、胎児の利益を保護している。

問1. 本文の主旨から、下線部(a)を何というか、漢字2文字で正しい用語を記入しなさい。

問2. 下線部(b)の説明として、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 損害賠償の請求権や親の遺産を相続する場合などの一部の権利能力を認めている。
- イ. 損害賠償の請求権のみに権利能力を認めている。
- ウ. 損害賠償の請求権をはじめ、自然人としてのすべての権利能力を認めている。

⑤ 次の文章を読み、問いに答えなさい。

私たちは権利の主体としてさまざまな物を財産として支配しており、この支配を通して経済生活を営んでいる。これらの(a)支配されている財産は、その中心をなすものが物であり、権利の対象物となる。

物はいろいろな観点から分類され、その取り扱いが区別されている。その主な種類は、不動産と動産、(b)特定物と(c)不特定物である。

また物と物との間には、特別な関係がある場合があり、一方が他方の使いみちを常に助けるように付属している場合にその付属させている物を主物といい、付属させられている物を従物という。

[事例]

Aは、別荘として建物の購入を考えていたところ、友人Bからある建物を紹介された。早速建物を内見したところ、Aはとても気に入って、この建物を購入する契約を結んだ。

数日後、建物の引き渡しを受けたが、内見のときにあった部屋の畳とふすまが無くなっていることに気づき、すぐにBに確認したところ、「建物を売り渡しましたが、畳やふすまに関しては売り渡したわけではありませんよ」とBは主張した。

(d)Aは、再度建物を購入する際の契約の内容を確認して、果たしてこのBの主張は認められるのか、また畳やふすまは誰のものとなるのか、自分で調べることにした。なお、この契約に関する特約はなかった。

問1. 下線部(a)を何というか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

ア. 権利の移転 イ. 権利の客体 ウ. 権利の支配

問2. 下線部(b)と下線部(c)に分類される物の組み合わせとして、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

ア. (b)岐阜県岐阜市X町Y番地の土地 (c)2キログラムの米
イ. (b)Cさんの所有する本 (c)岐阜県岐阜市X町Y番地の土地
ウ. (b)2キログラムの米 (c)Cさんの所有する本

問3. 本文の主旨から、下線部(d)の結論として、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

ア. 建物に対して畳やふすまは民法上の取り扱いである主物・従物の関係ではないことから、Bの主張は認められ、畳やふすまはBのものとなる。
イ. 建物に対して畳やふすまは民法上の取り扱いである主物・従物の関係であるから、Bの主張は認められ、畳やふすまはBのものとなる。
ウ. 建物に対して畳やふすまは民法上の取り扱いである主物・従物の関係であるから、Bの主張は認められず、畳やふすまはAのものとなる。

⑥ 次の文章を読み、問いに答えなさい。

私たちは日常生活のなかで、商店で商品を購入する場合、代金を支払って商品を受け取るということを理解している。しかし、(a)自分の行為の結果を正常に判断できる能力は、誰にでも備わっているわけではない。

民法は、一般的に能力が不十分な人を定型化し、その人に保護者をつけて能力不足を補うとともに、保護者を無視して行った被保護者の行為は、本人(被保護者)・保護者とも取り消しができるものとして、財産を保護している。これが制限行為能力者制度で、制限行為能力者についての法定制度として、未成年者、被補助人、(b)被保佐人、成年被後見人の4種を定めている。

[事例]

Aの兄であるBは、昨年に中度の認知症と診断された。現在Bは、一軒家の自宅で一人暮らしをしていることもあり、Aは家庭裁判所に対して保佐開始の請求を行なった。審判を受けたところ、家庭裁判所がAを保佐人として選任した。

被保佐人となったBは、日用品の購入やその他の日常生活に関する行為をする場合については、保佐人Aの同意を要しないものとされているが、これからは重要な一定の行為をする場合については、保佐人Aの同意が必要となる。

ある日、Bは自宅を改築するため、住宅工務店の営業担当者と契約を結んだ。なお、その際Bは自分が被保佐人であることを営業担当者へ伝えていなかった。Bは契約を結んだことを保佐人であるAに話をした。話を聞いたAはこの契約が重要な一定行為にあたるのか、わからなかったので地元の弁護士会に相談をすることにした。すると被保佐人の重要な一定の行為については民法13条に示されており、Bの自宅改築の契約がこれにあたることがわかった。すぐに弁護士から営業担当者にBが被保佐人であることを知らせることにした。

後日、Aに対して弁護士から、「この契約はAさんの同意が必要となります。今後住宅工務店の営業担当者から、Aさんに連絡があると思われます。営業担当者は、今回自分の行った取引がいつ取り消されるかもしれないということで、(c)保佐人Aに対して1か月以上の期間を定め、期間内にこの取引を認めるかどうか確答するように求めています」とのことだった。そして、この期間内にAが確答しない場合は、この契約を認めたことになるとアドバイスをしてくれた。

問1. 下線部(a)を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 意思能力 イ. 権利能力 ウ. 責任能力

問2. 下線部(b)の説明として、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 軽度の精神上の障がい、判断能力が不十分な人
イ. 精神上の障がい、判断能力を欠く常況にある人
ウ. 精神上の障がい、判断能力が著しく不十分な人

問3. 下線部(c)のようなことを何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 上告 イ. 催告 ウ. 詐術

㉚ 次の文章を読み、問いに答えなさい。

物権とは、ある一定の物を他人からの影響や干渉を排除して直接に支配し、利用できることを内容とする権利である。このように、(a)物権は他人を排除する強い権利であるから、その種類や内容は法律が定め、個人が勝手にそれと違う物権を創設することはできないと民法175条で定められている。物権の種類として、民法に定められているものは10種類あるが、ここでは占有権についてみる。

物を事実上自分の支配下に置いている状態のことを占有といい、その占有には正当な権利に基づく場合とそうでない場合とがある。民法は、社会の秩序を維持するために、占有しているという事実状態をその理由を問わずに一つの権利として保護している。

例えば、(b)Aが自転車を盗まれ、それがBのもとにあるということがわかったという場合、たとえAが所有者といえども、勝手にBから力づくで取り戻すことは原則として許されないということである。したがって、自分の所有物であっても、他人が占有しているものを同意なしに勝手に取り戻すことは占有権を侵すことになる。

問 1. 下線部(a)のような原則を何というか、漢字 4 文字を補って正しい用語を完成させなさい。

問 2. 下線部(b)を何というか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

ア. 遡求 イ. 即時取得 ウ. 自力救済

⑧ 次の文章を読み、問いに答えなさい。

大学生のAは、小説家になることが将来の夢で、いつか自分の執筆した本が書店に並ぶことを思い描いている。

世の中には、小説・音楽・映画・プログラムなど多くの著作物があり、それぞれに著作者がいる。著作物が創作されると同時に著作者は、(a)著作権を取得する。著作権は、著作物を創作した人に与えられ、他人に無断で使用させないことや、著作者本人であれば公開または複製することができる権利である。著作権は登録の方式をとらなくても取得できることを大学の講義で学んだ。

その講義で、著作権を侵害する行為の例として、「著作物を著作者に断りなくインターネット上にアップロードした場合、法律上では、10年以下の懲役もしくは1,000万円以下の罰金を科せられ、また著作者が金銭的な被害をこうむれば損害賠償を請求されることもある」ということを教わった。さらに著作権に関連して自分で調べたところ、著作物を公衆に伝達する実演家・放送事業者・レコード製作者のように、著作物を利用する者を保護する権利もあるということを初めて知ることができた。

一方で、著作権の他にも特許権、(b)意匠権、実用新案権、商標権などがある。これらは、いずれも(c)発明・考案・著作など人間の創造活動によってうみ出された無形のものが経済的利益をもたらす場合、その利益に対する権利、いわゆる支配権として認められているもので、人々の生活や産業発展のために有効に活用されるように保護していく必要がある。

Aは、自分たちの生活が多くの文化・芸術・学問などに支えられていることを改めて実感している。大好きな小説の創作活動をできる喜びを感じ、将来の自分の夢に再び思いをはせた。

問1. 下線部(a)の保護期間として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 著作者が著作物を創作してから、著作者の死後70年まで存続し、保護される。
- イ. 著作者が著作物を創作してから、著作者の死後10年まで存続し、保護される。
- ウ. 著作者が著作物を創作してから、著作者が死亡するまで存続し、保護される。

問2. 下線部(b)の説明として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 物品の形、構造または組み合わせの方法により、実用的に工夫された製品の考案を独占的に使用できる権利のこと。
- イ. 物品の形、模様や色彩またはこれらの結合であって、視覚を通じて美的感覚を生じさせる考案を独占的に使用できる権利のこと。
- ウ. 特定の業者が製造、販売している商品であることを示すため商品につけるマークなど独占的に使用できる権利のこと。

問3. 下線部(c)に記されている権利を総称して何というか、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 工業所有権 イ. 著作者人格権 ウ. 知的財産権

9 次の文章を読み、問いに答えなさい。

高校生のAは、地元のX大学への進学を希望している。AはX大学の学校推薦型選抜を利用して入試を受けようと考え、推薦条件にある成績基準の達成と資格取得に励んできた。Aは努力の結果、学校から推薦を受けることができた。Aの母親は(a)「もしX大学に合格できたら、Aが前から欲しいと言っていた人気ブランドのバッグを買ってあげる」と言って、Aにバッグをプレゼントする約束をした。Aは、推薦の試験において、口頭試問や面接があるので、試験対策に力を入れた。

後日、出願について入試要項を確認すると、X大学の出願は郵送で行うことがわかった。要項には、出願締切日の当日消印有効と記載されていた。Aは、(b)郵送における当日消印有効について、出願に関する意思表示の効力発生時期の考え方について調べ、間に合うように郵便局へ持参した。

AがX大学の口頭試問と面接を受けた数日後、AのもとにX大学から合格通知が届いた。Aは、母親との約束を楽しみにして、入学までさらに自己研鑽^{けんさん}し、X大学で頑張ろうと思った。

問1. 下線部(a)のような条件を何というか、漢字2文字を補って正しい用語を完成させなさい。

問2. 下線部(b)のような考え方を何というか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

ア. 先願主義 イ. 発信主義 ウ. 到達主義

10 次の文章を読み、問いに答えなさい。

私たちの社会生活では、金銭は必要不可欠である。金銭が不足する場合には、必要に応じて借りることもある。(a)金銭のほか、米やしょうゆなどの貸借は、その金銭や物を借りて使った者が、同種・同等・同量の物の返還を約束する契約であり、借りた物そのものを返す必要はない。

また、金銭の貸借契約では、一般的に利息の支払いを約束して契約を締結することが多い。利率については、当事者間で取り決めをしなかった場合に適用される利率と、(b)貸し主と借り主の当事者間で取り決める利率がある。しかし、利率を当事者の自由にしておくと、貸し主が借り主に対して、高い利率で契約を締結するおそれがある。そのため、(c)元本が10万円未満は年20%、10万円以上100万円未満は年18%、100万円以上は年15%と利率の最高限度を定めている法律によって規制をしている。金銭の貸借契約を締結する際には、利率の取り決めについて、しっかりと確認し、後日、トラブルにならないように気を付けなければならない。

問1. 下線部(a)のような貸借契約を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

ア. 賃貸借 イ. 使用貸借 ウ. 消費貸借

問2. 下線部(b)を何というか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

ア. 変動利率 イ. 約定利率 ウ. 法定利率

問3. 下線部(c)を何というか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

ア. 利息制限法 イ. 出資取締法 ウ. 金融商品販売法

Ⅺ 次の文章を読み、問いに答えなさい。

私たちは日常生活を送るうえで、さまざまな契約を締結している。契約は本人どうしの間で行うのが原則であるが、本人に代わって、ほかの者が相手方と契約を締結することが認められている。これを代理の制度という。代理には、法律の規定によって代理人とその権限が定められている代理と、(a)本人が自分で代理人を選び、一定の範囲の代理権を与える代理がある。

また、本人を代理する権限がないにもかかわらず、ある人が勝手に本人の代理行為をすることを無権代理という。この行為は、本人が(b)追認しない限り、本人に効力は生じないため、相手方は無権代理人に責任を追及するしかない。

しかし、(c)実際には代理関係がないのに、相手方に対して代理権が存在するような外観を呈している事情があると認められる場合には、その外観を呈したことを信じた相手方を保護することもある。

[事例]

X社は、無断欠勤を何度も繰り返す社員Aを先月末に解雇した。再三の注意にもかかわらず、Aに改善がみられないため、解雇はやむを得ない判断であった。しかしAは、X社に対して逆恨みし、X社に損害を与えようと企てた。Aは、取引先のY社に行き、いつもの倍以上の金額の買い入れ注文をした。X社はY社にAの解雇を通知していなかったため、Y社の担当者はAがいまだにX社の社員であると信じて売買契約を締結した。

その後、X社にY社から商品と請求書が届いた。事態を把握したX社は、Y社に事情を話して謝罪をし、売買契約の無効を主張した。しかし、Y社の担当者はAの解雇を知らなかったため、売買契約は有効だと主張した。(d)X社はこの売買契約を取り消すことができるかどうか、顧問弁護士に相談することにした。

問1. 下線部(a)のような代理を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 任意代理 イ. 法定代理 ウ. 復代理

問2. 下線部(b)の説明として、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 要件を欠く法律行為について、あとから要件を補完して効力を生じさせること
イ. 取り消しが可能な法律行為を取り消さず、そのまま有効と認めること
ウ. 本人に対して、行われた法律行為を認めるかどうか確答するよう求めること

問3. 下線部(c)のような無権代理を何というか、漢字2文字を補って正しい用語を完成させなさい。

問4. 本文の主旨から、下線部(d)の結論として、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. X社はAを解雇しているため、AとX社の間に関係はないので売買契約は無効であり、取り消すことができる。
イ. X社がAの解雇を主張しても、Aには代理権授与の外観があるため売買契約は有効であり、取り消すことはできない。
ウ. Aの行為は不法行為と判断され、AとY社で交わされた売買契約は無効であり、取り消すことができる。

12 次の文章を読み、問いに答えなさい。

Aには、骨董品こつとうひんを集める趣味がある。ある日、Aの自宅に美術館の職員が訪れ、「今度、骨董品の展示会を開催するのでAさんが所有している壺つぼを貸してほしい」と言われた。Aは、以前にも、この美術館に壺を貸したことがあるので、美術館の職員に「有名な工芸家が製作した壺なので、大切に扱ってほしい」と言い、期間限定で壺を貸すことにした。美術館に貸したその壺は、祖父から(a)贈与契約によって譲り受けたものであり、とても高価である。

Aは、自分の壺がどのように展示されているのか気になったため、美術館に行った。すると、骨董品収集家のBが近寄ってきて、Aに「あの展示されている壺の持ち主の方ですか」と言い、続けて「あの壺を売ってください」とお願いした。AはBに「この壺は、祖父から譲り受けた大切な壺なので、売ることはできません」と言い、その場を立ち去り自宅へ帰ることにした。すると、帰宅途中でAはBに会ってしまい、再びBから「壺を売ってほしい」とお願いされた。しつこいBに対しAは再び断った。すると、(b)それまで穏やかだったBの表情が一変し、BはAに「売らないとひどい目にあわせるぞ」と大声で怒鳴った。Aは怖くなって、Bと売買契約を結び、Bに10万円で壺を売ってしまった。

後日、Aが行きつけの骨董品店をのぞいてみたところ、AがBに売った壺が置いてあり、200万円の値札が付けられていた。Aは骨董品店の店主に壺について尋ねたところ、「この壺は、有名な工芸家が製作した壺のため、200万円という高値を付けました」と教えてくれた。店に置いてあるこの壺はAがBに売却してしまった壺であり、その壺をBが骨董品店に売却したようである。

Aは、Bとの売買契約を取り消して壺を取り返そうと思った。しかしその前に(c)Aは、Bとの売買契約を取り消すことができるのかどうか、また、骨董品店に壺の返還請求を主張できるのかどうか、法律の専門家に相談することにした。なお、骨董品店の店主は、事情を知らない善意無過失の第三者である。

問1. 下線部(a)を契約の性質から分類した場合、どのような組み合わせになるか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 片務契約・無償契約・要物契約
- イ. 片務契約・無償契約・諾成契約
- ウ. 双務契約・無償契約・要物契約

問2. 下線部(b)のような意思表示を何というか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 強迫による意思表示
- イ. 詐欺による意思表示
- ウ. 錯誤による意思表示

問3. 本文の主旨から、下線部(c)の結論として、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. AはBと結んだ売買契約を取り消すことができるが、善意無過失の第三者である骨董品店に対しては、壺の返還請求を主張することはできない。
- イ. AはBと結んだ売買契約を取り消すことはできないが、善意無過失の第三者である骨董品店に対しては、壺の返還請求を主張することができる。
- ウ. AはBと結んだ売買契約を取り消すことができ、善意無過失の第三者である骨董品店に対しても、壺の返還請求を主張することができる。

13 次の文章を読み、問いに答えなさい。

民法の一部が改正され、2020年4月1日から施行された。その改正の一つとして、(a)一定の期間、権利を行使しないことによって、権利を主張できなくなる時効制度がある。例えば、貸し付けた金銭の返済を請求することができる権利の期間は、改正前は10年の期間であった。しかし改正後は、権利を行使できる時から10年間と、権利を行使できることを知った時から5年間の二段構えに改められた。(b)時効は、利益を受ける当事者がその権利を主張することで裁判所が取り扱うことになる。この点は改正前と同じである。

時効制度には二つあるが、ここでは、もう一つの時効制度について、事例で見てみる。

[事例]

Aは15年前に東京郊外に土地を購入し、果物の栽培をしている。隣地との境界線は杭を打って示してある。ある日、隣地を所有するBが、自己所有の土地を売るために測量したところ、Aの使用している土地の一部がBの土地であることが判明した。Aは、Bから「あなたが果物を栽培している土地の一部は私の土地です。境界の杭を打ち直して、私の土地を返してください」と言われた。(c)Aはその土地について、どのような扱いになるのか、法律の専門家に相談することにした。なお、Aは、15年間、何の疑いもなくその土地を使用して果物を栽培しており、善意無過失である。

問 1. 下線部(a)に記された時効を何というか、漢字 2 文字を補って正しい用語を完成させなさい。

問 2. 下線部(b)を何というか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

ア. 時効の完成猶予 イ. 時効の更新 ウ. 時効の援用

問 3. 本文の主旨から、下線部(c)の結論として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. Aは善意無過失で、平穩かつ公然と15年間、Bの土地の一部を使用していたが、Bの土地であることに変わりはないため、その土地はBに返さなければならない。
- イ. Aは善意無過失で、平穩かつ公然と10年以上、Bの土地の一部を使用していたため、時効の制度により、その土地の所有権はAが取得することになるので返さなくてよい。
- ウ. Aは善意無過失で、平穩かつ公然と15年間、Bの土地の一部を使用していたが、時効の制度では20年の期間が必要なため、その土地はBに返さなければならない。

14 次の文章を読み、問いに答えなさい。

Aは土地を購入し、住宅を建築することを考え、住宅建売業者のX社を訪ねた。X社は、自社で所有する土地を紹介してくれた。Aは実際にその土地を確認し、売買契約を締結し、X社に代金を支払った。同時に(a)登記簿の土地の名義をX社からAの名義に変更した。

Aは購入した土地に一戸建て住宅を建築するために、再びX社を訪ね、間取りやキッチンの設備などについて相談をしていた。X社との売買契約を済ませ、売買代金の手付金として300万円をX社に支払った。Aは、(b)AまたはX社のどちらかが、何らかの理由で売買契約を解除する場合、法律上、手付金の取り扱いはどうなっているのか、あらかじめ調べておくことにした。

その後Aは購入した土地に行って確認をすることにした。すると、隣家のBが所有するとともに大きな樹木がAの土地に倒れていることに気が付いた。(c)AはBに対して、「もうすぐ住宅の建築を始めるので、私の土地に倒れた樹木を早急に撤去してください」とお願いした。するとBはAに対して、「わかりました。すぐに対処します」と答えた。しかし、しばらく経ってもBは倒れた樹木を撤去してくれなかった。

そのため、Aは弁護士に相談することにした。すると弁護士はAに「Bさんに樹木を撤去するよう、裁判所に請求手続きを行います」と言った。Aは、手続きを進めるために弁護士と契約を結んだ。弁護士は、「裁判所が判決で樹木を撤去する命令を出しているにもかかわらず、Bさんが樹木を撤去しない場合には、(d)Bさんの代わりに、業者を探して樹木を撤去させ、かかった費用のすべてをBさんに負担させる強制執行を裁判所に申請できます」とAに教えてくれた。

その数日後、強制執行の手続きに入る直前に、BはAに対して、「大きな樹木で撤去費用が高額になることから、撤去が遅くなりました。今すぐ撤去します」と謝罪し、すぐに樹木を撤去してくれた。Aは、Bの隣に住むことになることから、謝罪を受け入れ、Bと良好な関係を築いていこうと思った。

問1. 下線部(a)を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 保存登記 イ. 抹消登記 ウ. 移転登記

問2. 本文の主旨から、下線部(b)の結論として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 契約の履行に着手する前であれば、Aが支払った手付金を放棄するか、X社が受け取った手付金の倍額をAに返還すれば契約を解除することができる。
- イ. 契約の履行に着手する前であれば、Aが支払った手付金の倍額を支払うか、X社が受け取った手付金をAに返還すれば契約を解除することができる。
- ウ. 契約の履行に着手する前であれば、Aが支払った手付金を放棄することにより、契約を解除することができるが、X社の都合で契約を解除することはできない。

問3. 下線部(c)のような物権的請求権を何というか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 妨害予防請求権 イ. 妨害排除請求権 ウ. 返還請求権

問4. 下線部(d)のような強制執行を何というか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 間接強制 イ. 直接強制 ウ. 代替執行

15 次の文章を読み、問いに答えなさい。

Aは、大学卒業後、東京都内の企業に就職した。Aが入社した会社では、入社してから数年後には、必ず海外の営業所で勤務することになっている。入社1年目のAは、最初の数年は国内の営業所で経験を積み、同期で入社した誰よりも早く海外の営業所で勤務したいと思っている。ある日、Aは母親から(a)「Aが海外の営業所で勤務する日が来たら、腕時計を買ってあげる」と言われた。Aは、早く海外で勤務できるように努力しようと思った。

休日のある日、Aは母親と一緒に街へ買い物に出かけた。すると母親が「大学卒業のお祝いをまだしていなかったので、前から欲しがっていた10巻セットの英語小説を買ってあげる」と言い、書店に立ち寄り、その小説を購入し、代金は、母親が現金で支払った。

Aは自宅に帰り、さっそく購入した小説を読むことにした。Aが1巻目を読んでいたところ、途中のページが5ページほど抜けていることに気が付いた。Aは、(b)「このような本の落丁は、売り主である書店の店主が債務を履行していないと考えた。」

Aの母親は、購入した小説をもって書店に行き、店主に「ページが抜けているので、交換してください」とお願いした。すると、店主は「希少な小説なので在庫がなく、取り寄せになってしまいます。当店に届くのは2週間後になります」と言った。母親は、契約を解除するか、2週間待つか迷ったが、待つことにした。店主は母親に「申し訳ありません。なるべく早く届くように手配します。もし、お客様が契約を解除された場合、お互いに(c)「原状回復義務が発生します」と伝えられた。

母親は帰宅し、Aに事情を伝え、店主からの連絡を待つことにした。Aは、小説の楽しみは後にとっておいて、明日からまた仕事を頑張ろうと思った。

問1. 本文の主旨から、下線部(a)を法律行為としてみた場合、効力が発生する事実はどのように分類されるか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

ア. 不確定期限 イ. 確定期限 ウ. 有効期限

問2. 下線部(b)のような債務不履行を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

ア. 履行遅滞 イ. 不完全履行 ウ. 履行不能

問3. 本文の主旨から、下線部(c)の説明として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

ア. 母親は、購入した小説を書店の店主に返還する必要はなく、書店の店主は、母親から受け取っていた現金を返還しなければならないこと。

イ. 母親は、新しい小説が届くまで購入した小説を預かり、書店の店主は、母親から受け取っていた現金を返還せずに、新しい小説と交換して契約をした時と同じ状態に戻すこと。

ウ. 母親は、購入した小説を書店の店主に返還し、書店の店主は、母親から受け取っていた現金を返還して、契約する前の状態に戻さなければならないこと。

16 次の文章を読み、問いに答えなさい。

Aは、いつか自分のラーメン店を出店することを夢見て、会社勤めを辞め、都内で有名なラーメン店で修業を始めて10年が経つ。ラーメン店のオーナーBから、そろそろ独立しないかと言われ、独立した際には、^{のれん}暖簾分けで系列店と名乗ってよいことを約束してくれた。

Aは、独立するには預貯金だけでは足りないため、会社員時代に購入した不動産を担保に銀行から設備資金として500万円を借り入れることにした。銀行の融資担当者から(a)「Aさんの不動産に抵当権を設定します」と言われ、借り入れの審査をもらった。

その後、銀行の審査も無事に通り、手続きを済ませ、500万円を借り入れた。しかし、運転資金も余裕があったほうがよいと考え、知人Cから運転資金として200万円を借り入れることにした。Cとは、3年後に返済することで合意した。しかしCは、Aが万が一、弁済できない時のために人的担保を設定してほしいと言った。

そこでAは、お世話になったオーナーBに頼んで、(b)「主たる債務者である私と連帯して債務の履行を保証する契約を締結してほしい」とお願いした。Bは悩んだが、Aを信用して保証人になった。

Aは、ラーメン店を開業するにあたり、設備に関するさまざまな手続きが必要であることがわかり、電気やガスなどの契約について調べてみた。すると、(c)「電気や水道、ガスの供給などについては、大量に取引がなされ、画一的かつ迅速な処理が要求されるため、当事者があらかじめ決めておいた定型的な内容によって契約が結ばれる」ことがわかった。

その後、Aが開店したラーメン店は大繁盛し、マスコミにも取り上げられるほどの人気店となった。Aの店は無事に軌道に乗り、資金にも余裕ができたため、3年の約束を前倒ししてCに200万円とその利息相当分を支払った。また、銀行から借り入れた資金も前倒しで返済することを検討することにした。

問1. 下線部(a)に記された権利の説明として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 債務者が引き渡した物を債務の弁済があるまで債権者が占有し、弁済期がきても弁済がない場合には、その物を競売してその代金から優先して弁済を受けることができる権利。
- イ. 特定の債権者が公平の立場からとくに保護されて、債務者の全財産あるいは特定の財産から、優先して弁済が受けられる権利。
- ウ. 目的物を債務者が占有したままで債権の担保とし、債務者が弁済期に弁済しない場合には、債権者がその目的物を競売して、その代金から優先して弁済を受けることができる権利。

問2. 下線部(b)のような人的担保を何というか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 連帯債務 イ. 連帯保証債務 ウ. 保証債務

問3. 下線部(c)に記された契約を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 付合契約 イ. 定型約款 ウ. 流質契約

選択問題Ⅰ〔会社に関する法〕

① 次の文章を読み、問いに答えなさい。

小切手は、振出人が支払人である銀行に対して、持参人または受取人に一定の金額の支払いをするように委託する有価証券である。一般の小切手は支払人が銀行などに限定され、(a)一覧払いとされているので、多くの会社で現金の支払いに代わるものとして広く利用されている。その支払呈示期間は、国内で利用される小切手の場合には、振り出しの日付の翌日から10日間である。

小切手は、小切手文句や小切手金額など、(b)法律で記載することを要すると定められた事項が記載されなければ、小切手として無効である。

また、受け取った小切手の金額の記載を書き換えることで、(c)小切手の内容を勝手に書き直すことがあった場合には、民法上の不法行為責任を負い、刑法上の罪などにも問われる。

問1. 下線部(a)の説明として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 支払いを求めて小切手が呈示されてから、一定の期間経過後に支払われるべきもの
- イ. 一定の日が定められず、支払いを求めて小切手が呈示されたときに支払われるべきもの
- ウ. 「令和〇年△月×日」というように特定の日に支払われるべきもの

問2. 下線部(b)を何というか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 有益的記載事項 イ. 有害的記載事項 ウ. 必要的記載事項

問3. 下線部(c)を何というか、漢字2文字を補って正しい用語を完成させなさい。

② 次の文章を読み、問いに答えなさい。

株主総会は、株主によって構成され、会社の意思決定を行う必置の機関である。ただし、公開会社のように取締役会が設置されている会社における株主総会の決議事項は、会社法に定められた事項および定款で定められた事項に制限される。株式会社では、1人または2人以上の取締役を置かなければならず、取締役の選任にあたっては、(a)定款に別段の定めがある場合を除き、議決権を行使することができる株主の議決権の過半数を有する株主が出席し、出席した株主の議決権の過半数で成立する決議によって選任する。

(b)取締役と会社との間の関係は、委任に関する規定に従い、業務執行にあつては善良な管理者としての注意をもって会社の業務を行わなければならない。そして取締役が職務を怠って会社に損害を与えた場合、損害賠償責任を負わなければならない。

問1. 下線部(a)を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 普通決議 イ. 特殊の決議 ウ. 特別決議

問2. 下線部(b)に記された義務を何というか、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 忠実義務 イ. 善管注意義務 ウ. 競業避止義務

選択問題Ⅱ〔企業の責任と法〕

① 次の文章を読み、問いに答えなさい。

X社は、常時100人以上が勤務している企業である。4月に入社したAは、社内研修を受けている。研修では、人事部の研修担当者から、まず、社会人としての心構えとして、ビジネスマナーや挨拶の大切さについて指導を受けた。また、(a)X社が定めている規律や労働時間、賃金や労働条件などの規則類について説明された。さらに、企業は利益追求だけでなく、さまざまな場面で社会的責任を意識しなければならないことを教わった。例えば、(b)違法行為や不祥事が起きた場合において、その原因や経緯、事実関係などの情報は公表する責任があるので、法令をしっかりと意識するようにと言われた。

Aは、研修後に発表される配属先を楽しみにしていた。Aは、どの部署に配属されても、社会人として立派に成長し、X社の一社員として目標達成に全力を尽くそうと心に誓った。

問1. 下線部(a)のような規則を何というか、漢字4文字で正しい用語を記入しなさい。

問2. 下線部(b)を何というか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

ア. 公益通報制度 イ. インサイダー取引 ウ. アカウンタビリティ

② 次の文章を読み、問いに答えなさい。

購入した商品やサービスをめぐるトラブルが増えている。そこでわが国では、(a)消費者の利益を保護するために、消費者被害が生じやすい訪問販売における取引について法律で規制している。

例えば、駅前や繁華街などの路上で通行人を呼び止め、営業所へ連れ込んで契約をさせる販売方法や(b)販売目的であることを告げずに、電話やダイレクトメールなどで、有利な条件を提示し、営業所に呼び出して契約をさせる販売方法などが規制の対象となっている。消費者庁の統計によると、高額な化粧品や健康食品、美容などにおいて消費者の被害が多いという。このような販売方法や訪問販売において売買契約を締結した場合、(c)クーリング・オフ制度によって、クーリング・オフの説明がある書面を受け取った日から無条件で契約を解除することができる期間を定め、消費者を保護している。このほかにも、クーリング・オフによって解除することができる販売方法があるが、自分が本当に必要な物かよく考えてから契約を締結することが大切である。

問1. 下線部(a)に記された法律として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

ア. 消費者基本法 イ. 特定商取引法 ウ. 製造物責任法

問2. 下線部(b)に記された販売方法を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

ア. マルチ商法 イ. キャッチセールス ウ. アポイントメントセールス

問3. 本文の主旨から、下線部(c)に記された期間として、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

ア. 8日間 イ. 10日間 ウ. 14日間

経済活動と法解答用紙

	問 1	問 2			問 3
1					

	問 1			問 2
2			解釈	

	問 1	問 2
3		

得 点

	問 1	問 2
4		

	問 1	問 2	問 3
5			

	問 1	問 2	問 3
6			

	問 1				問 2
7					主義

	問 1	問 2	問 3
8			

	問 1		問 2
9			条件

	問 1	問 2	問 3
10			

	問 1	問 2	問 3		問 4
11					代理

	問 1	問 2	問 3
12			

	問 1		問 2	問 3
13			時効	

	問 1	問 2	問 3	問 4
14				

	問 1	問 2	問 3
15			

	問 1	問 2	問 3
16			

注：選択問題 　　いずれか 1 分野を解答すること。2 分野を解答した場合は、選択問題すべてを無効とします。

選択問題Ⅰ〔会社に関する法〕

	問 1	問 2	問 3	
1			小切手の	

	問 1	問 2
2		

選択問題Ⅱ〔企業の責任と法〕

	問 1				問 2
1					

	問 1	問 2	問 3
2			

受験場校

受験番号

総得点

経済活動と法模範解答

(各2点)

秘

得点
14

	問1	問2		問3
1	ウ	不	文	法 ア

	問1		問2
2	文	理	解釈 ウ

	問1	問2
3	イ	ア

	問1	問2
4	法	人 ア

	問1	問2	問3
5	イ	ア	ウ

	問1	問2	問3
6	ア	ウ	イ

16

	問1				問2
7	物	権	法	定	主義 ウ

	問1	問2	問3
8	ア	イ	ウ

10

	問1		問2
9	停	止	条件 イ

	問1	問2	問3
10	ウ	イ	ア

10

	問1	問2	問3		問4
11	ア	イ	表	見	代理 イ

	問1	問2	問3
12	イ	ア	ウ

14

	問1		問2	問3
13	消	滅	時効	ウ イ

	問1	問2	問3	問4
14	ウ	ア	イ	ウ

14

	問1	問2	問3
15	ア	イ	ウ

	問1	問2	問3
16	ウ	イ	ア

12

選択問題Ⅰ〔会社に関する法〕

	問1	問2	問3	
1	イ	ウ	小切手の	変 造

	問1	問2
2	ア	イ

選択問題Ⅱ〔企業の責任と法〕

	問1			問2
1	就	業	規	則 ウ

	問1	問2	問3
2	イ	ウ	ア

10

選択問題Ⅰ〔会社に関する法〕・選択問題Ⅱ〔企業の責任と法〕の2分野を解答した場合は、
選択問題を0点としてください。

総得点
100